

業務仕様書

1. 業務名

大和ハウス プレミストドームサブグラウンド天然芝保全業務

2. 業務目的

大和ハウス プレミストドームのサブグラウンドの天然芝が一部はぎとられたままのため、耕耘整地および播種を行う。

3. 履行場所

大和ハウス プレミストドーム内サブグラウンド（サッカー練習場2）札幌市豊平区羊ヶ丘1番地

4. 履行期間

契約締結日から令和 8年2月13日まで

5. 業務内容

(ア) 下記施工内容を実施すること。施工前に発注者および施設管理者と詳細な打ち合わせを行い、あらかじめ工程表を提出し承諾を得てから始めること。

- ① 施工予定地の不要な残置芝を切り出すこと。
- ② 残置芝を切り出した後、床砂を40mm補充して均一に敷きならすこと。
- ③ 床砂補充完了後に「表-1 土壌改良材」の土壌改良材と「表-2 元肥等」の肥料を規定量散布すること。
- ④ 土壌改良材、元肥の散布後にトラクターにて100mm-150mm程度の耕耘を行うこと。
- ⑤ 耕耘後、転圧と不陸整正を行い、地表に露出した古い根（芝生ボサ）は回収して地表面を清掃すること。
- ⑥ 床砂基盤整備が完了したら緩効性肥料を散布すること。
- ⑦ 緩効性肥料散布後はスパイクングを実施して砂床に穴を空けること。
- ⑧ スパイクング完了後にプライズローン或いは同等品のドロップ式の播種機を使用して播種を行うこと。播種量は㎡当たり30gとすること。
- ⑨ 芝生種子は「表-3 芝草種子配合表」の品種・配合比率とすること。
- ⑩ 播種後にローラータイプの目砂散布機を使用して均一に薄目砂散布を行うこと。
- ⑪ 目砂散布後に養生シートを敷設すること。養生シートは㈱札幌ドーム所有のサンサンスクリーンを使用すること。
- ⑫ 養生シートの上にスミサンスイ用ホースを設置すること。ホース一式は受注者が用意すること。散水管理は施設管理者が行うので協力すること。
- ⑬ 種子発芽後、芝の生育状況を確認して適当なタイミングで養生シートを撤去すること。養生シート撤去のタイミングは施設管理者と協議して決めること。
- ⑭ 養生シート撤去後、1回目の芝刈りを乗用ロータリーモアで行うこと。刈り高は30mmとすること。併せて殺菌剤を施用すること。2回目以降の刈込は施設管理者が行うものとし、実施タイミングは施設管理者と協議して決めること。

表-1 土壌改良材

区分	資材名(例)	施用量(1㎡当り)	単位
有機系ピートモス	ピートモスA級又はこれと同等以上のもの	1.5	㍓
無機系硬質ゼオライト	ホープライトM又はこれと同等以上のもの	1.0	kg
高有機完熟牛糞堆肥	黒毛牛ふん堆肥又はこれと同等以上のもの	0.2	kg

表-2 元肥等

区分	資材名(例)	含有成分(%)	施肥量
硫酸カルシウム肥料	ダーウィン2000細粒	Ca:33 S:19	16.0g/㎡
磷酸肥料	ヨウリン	P:20 Mg:15	20.0g/㎡
被覆緩効性肥料	GT グリーنز	N:21 P:5 K:10	20.0g/㎡
緩効性肥料※	ポリSプロターフN・K	N:15 P:5.5 K:15	30.0g/㎡
殺菌剤	タチガレン液剤	ヒドロキシイソキサゾール	0.5L/㎡

※緩効性肥料は、播種前に30g/㎡散布する事。

表-3 芝草種子(下記指定とする)

草種	品種	比率(重量比%)	播種量(g/㎡)
ケンタッキーブルーグラス(KB)	マーキュリー	30	9
ケンタッキーブルーグラス(KB)	アコースティック	30	9
ケンタッキーブルーグラス(KB)	アワード	30	9
ペレニアルライグラス(PR)	マンハッタン7GLR	10	3

表-4 床砂

粒度分布表

粒度分布			
0.1mm未満	0.1以上~0.5mm未満	0.5mm以上~1mm未満	1mm以上
1%以下	80~90%	5~20%	2%以下

- 使用する床砂は、以下の基準を満たすものとする。
 - 石狩産を使用すること。
 - 粒度分布は上記分布表の基準を満たすこと。
 - 2回水洗いした砂とすること。
 - pHは約6.0~7.0の範囲とすること。
 - 有害物質を含まず、硬質で粒形は丸みのあるものとする。
 - 使用前に見本品及び粒度分布試験データを提出し、発注者の承諾を得ること。

6. 品質管理

(1) 使用資材は品質証明書等を発注者に提出し承諾を得てから使用すること。

対象資材

対象資材	承認時期	確認資料	確認項目
砂	納品前	試験成績書	産地、pH、粒度分布など
土壌改良材	納品前	品質証明書・カタログ等	芝生に有害な物質を含まない
肥料	納品前	登録証・カタログ等	芝生に有害な物質を含まない
種子	納品前	種子検査成績報告書	発芽率：KB75%以上、PR90%以上 純度：KB98%以上、PR98%以上

7. 施設周辺の保全

サブグラウンド外周の散水設備や、クラブハウス前の平板舗装、その他施設を損傷することのないようにすること。また必要に応じて養生すること。

8. 提出書類

(1) 業務計画書

受注者は、着手前に原則として次に掲げる事項を記載した施工計画書を発注者に提出すること。
▽業務概要▽計画工程表▽現場組織表▽安全管理▽施工方法（主要施工機械、仮設設備計画等）
▽施工管理計画▽緊急時の体制及び対応▽交通管理▽環境対策▽現場作業環境の整備▽建設副産物▽その他必要事項

9. その他

- (ア) 播種については芝生品質向上のため可能な限り早く行うこと。
- (イ) 施工で発生する不要な芝・残土その他の廃棄物は請負者の負担で処分すること。
- (ウ) 施肥や薬剤散布で使用する機器は請負者が用意すること。
- (エ) イベント日の各種作業は発注者および施設管理者に事前確認すること。イベントによっては作業日を変更することがあるので留意すること。
- (オ) 業務の計画・実施にあたっては、開催イベント、施設利用者への影響を最小限に抑えるため、担当職員、施設管理者と作業工程を十分打合せのうえ行うこと。
- (カ) 業務の実施にあたっては、関係法令等を遵守すること。
- (キ) 産業廃棄物の処理を行ったものについては、マニフェスト伝票の写しを提出すること
- (ク) 業務の実施にあたっては、利用者の利便性や安全性を十分考慮すること。
- (ケ) 未使用機器等の電源切断の励行による節電、再生紙の積極利用など、環境に配慮した資源の利用に留意すること。
- (コ) その他、業務の実施に関して疑義が生じた場合は、担当職員と打合せの上遺漏のないよう遂行すること。